

御代田町の埋蔵文化財発掘調査報告書 第29集

町内遺跡99

— 長野県北佐久郡御代田町町内遺跡発掘調査報告書 —

2000・3

長野県御代田町教育委員会

御代田町の埋蔵文化財発掘調査報告書 第29集

町内遺跡99

— 長野県北佐久郡御代田町町内遺跡発掘調査報告書 —

2000・3

長野県御代田町教育委員会

例 言

- 1 本書は平成11年度国庫補助事業、町内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。
- 2 事務局と調査団

御代田町教育委員会

教 育 長 吉田 末廣
教 育 次 長 堀籠 泰久
社会同和教育係長 内堀 豊彦
社会同和教育係 荻原 浩、堤 隆、小山岳夫

調 査 団

団 長 吉田 末廣
調査 担当者 堤 隆、小山 岳夫
作 業 員 中込 輝子、砂連尾 恵美子、神蔵 惇子

- 3 本書の編集 小山 岳夫
- 4 執 筆 堤 隆 (大沼遺跡)、小山岳夫 (大沼遺跡以外)
- 5 整理作業 中込輝子、砂連尾恵美子、神蔵惇子
- 6 本書に関わる資料の保管場所 御代田町文化財資料室

目 次

I 調査の概要	1
II 試掘調査の結果	4
1 小田井城跡	4
2 池尻遺跡	11
3 聖原Ⅱ遺跡	15
4 大沼遺跡	19
報告書抄録	4

I 調査の概要

町内には77箇所の遺跡が周知されている。このうち、本年度は4箇所を試掘調査、2箇所で立ち会い調査が実施された。その内訳は、公共事業開発に伴う試掘調査が1件、立ち会い調査が2件、開発が予想される地域での確認試掘調査が2件であった。小規模開発に伴うものが主体的であったため、調査に日数を要したものはなかった。

また、調査結果は聖原Ⅱ遺跡で奈良～平安時代の竪穴住居跡6軒が確認された。また、小田井城跡では、城の主郭部分の近くを調査したところ、数基の竪穴遺構の存在と大規模な土塁が検出された痕跡が確認された。

このほかの遺跡では遺構・遺物が検出されないという状況で、本調査に至ったものは皆無であった。

本年度試掘調査した遺跡一覧は下の表、また、詳細は次章に記す。

第1表 試掘実施遺跡一覧表

	遺跡名	住 所	原 因 者	調査原因
1	小田井城跡	大字御代田字城の内	—	開発が予想される地域での 確認試掘調査
2	池 尻	大字御代田字池尻	御代田町	農道改良
3	聖原Ⅱ	大字御代田字蟹沢原	—	開発が予想される地域での 確認試掘調査
4	大 沼	大字塩野字大沼	—	開発が予想される地域での 確認試掘調査



第1図 御代田町遺跡分布図 (1:100,000)

第2表 北條久彌御代田町遺跡一覧表

番号	種別	時代				遺跡名	所在地	発掘歴	調査	
		縄文	縄土	古墳	中世				通	基
1	集落址	○				西京神	御代田町塩野	○	○	
2	集落址	○				西京神	御代田町塩野			
3	集落址	○				西条西	御代田町塩野			
4	集落址	○				西条東	御代田町塩野			
5	散布地	○				溝	御代田町塩野			
6	集落址	○				城之腰	御代田町塩野	○	○	○
7	集落址	○				鱧屋根	御代田町塩野	○	○	○
8	集落址	○				広畑	御代田町塩野	○	○	○
9	集落址	○				窪窪	御代田町塩野	○	○	○
10	集落址	○				西院込	御代田町塩野	○	○	○
11	集落址	○				上藤塚	御代田町塩野	○	○	○
12	散布地	○				第二ツ石	御代田町塩野			
13	集落址	○				溝玉	御代田町塩野	○	○	○
15	墓址			○		船塚古墳	御代田町塩野	○	○	
16	墓址			○		塚田古墳	御代田町塩野	○	○	
17	散布地	○				馬場	御代田町塩野			
18	墓址			○		めがね塚古墳群	御代田町馬瀬口	○		○
19	墓址			○		下原古墳群	御代田町馬瀬口			
20	城跡				○	小田井城跡	御代田町上宮			
21	散布地	○				下原敷	御代田町上宮			
22	散布地	○				北原敷	御代田町上宮			
23	散布地	○				栗野	御代田町上宮			
24	散布地	○				栗野小谷分沢	御代田町上宮			
25	散布地	○				清水平	御代田町豊原			
26	集落址	○				宮平	御代田町豊原	○	○	○
27	集落址	○				塩野山	御代田町塩野			
28	集落址	○				児玉	御代田町児玉			
29	集落址	○				塩野西原	御代田町塩野			
30	集落址	○				上西田	御代田町塩野			
31	洞穴	○				山大穴跡穴	御代田町塩野	○		
32	散布地		○			西島	御代田町塩野			
33	散布地	○				狹室	御代田町塩野			
34	散布地	○				早稲岡畑	御代田町早稲			
35	散布地	○				道分遺跡	御代田町早稲			
36	散布地	○				道分西原	御代田町早稲			
37	散布地	○				下原塚	御代田町塩野			
38	集落址	○				御代田池尻	御代田町児玉	○	○	○
39	城跡				○	広戸城	御代田町広戸			
40	集落址				○	野火付	御代田町小田井	○	○	○
41	集落址				○	前田	御代田町小田井	○	○	○
42	集落址				○	十二	御代田町小田井	○	○	○
43	集落址				○	相澤	御代田町小田井	○	○	○
44	墓址		○			根岸古墳	御代田町小田井			
45	城跡				○	金井城	御代田町小田井			
46	城跡				○	小倉平	御代田町小田井	○	○	○
47	城跡				○	宮平城	御代田町豊原	○	○	○
48	散布地	○				清水平	御代田町豊原	○	○	○
49	集落址	○				上ノ原敷	御代田町豊原	○	○	○
50	城跡				○	滝沢城	御代田町豊原			
51	城跡				○	梨子沢城	御代田町梨沢			
52	城跡				○	依田城	御代田町梨沢			
53	城跡				○	曾根城	御代田町小田井			
54	散布地				○	跡野	御代田町小田井			
55	集落址				○	新野	御代田町小田井	○	○	○
56	集落址				○	聖原Ⅱ	御代田町小田井			
57	集落址				○	田向原	御代田町馬瀬口			
58	集落址				○	塩野山Ⅱ	御代田町塩野			
59	集落址				○	塩野山Ⅰ	御代田町塩野			
60	城跡				○	塩野城	御代田町塩野			
61	集落址		○			堀田	御代田町塩野	○	○	○
62	集落址		○			下荒田	御代田町塩野	○	○	○
63	集落址	○				塚田	御代田町塩野	○	○	○
64	城跡				○	蛸塚城	御代田町上宮			
65	城跡				○	谷地城	御代田町荒町			
66	城跡				○	馬瀬口城	御代田町馬瀬口	○	○	○
67	集落址					下野堂	御代田町塩野			
68	集落址				○	中屋敷	御代田町塩野	○	○	○
69	集落址				○	栗原	御代田町塩野	○	○	○
70	集落址				○	川原田	御代田町塩野	○	○	○
71	集落址				○	下大宮	御代田町塩野	○	○	○
72	散布地				○	下ノ平	御代田町塩野			
73	散布地				○	北原	御代田町塩野			
74	散布地				○	隅場	御代田町馬瀬口			
75	城跡				○	長倉城	御代田町小田井			
76	城跡				○	戸谷城	御代田町小田井			
77	城跡				○	堀原城	所在不明			

太字印刷、斜体立ち食い英紙

Ⅱ 試掘調査の結果

1 小田井城跡

- (1) 調査場所 長野県北佐久郡御代田町大字御代田字城の内2874-1
- (2) 調査時期 平成12年2月3日～4日
- (3) 調査原因 開発が予想される地域の確認試掘調査
- (4) 調査担当 小山岳夫
- (5) 調査概要と結果

現 状

町史跡小田井城跡の周辺は宅地化が進み開発が盛んに行われているため、当城跡内も近い将来開発されることが予想される。城跡の重要性については、その規模の大きさや伝承等で周されているが、平成10年度まで発掘が行われていなかったため、実態が不明確であった。

平成10年度は図で示すように斜線部分の畑について重機を導入して試掘調査を行ったが、遺構はほとんど存在しないことが判明した。また、周辺の踏査、聞き取り調査により、土塁・空堀でもっとも嚴重に囲郭されている城跡北側の郭の備えがもっとも堅く、ここに城の主体があったらしいことが予測された。

平成11年度の試掘調査

平成11年度は、城跡北側の郭の周辺状況をさらに正確に把握するため、網点部分(2874-1番地の畑)にて試掘調査を行った。

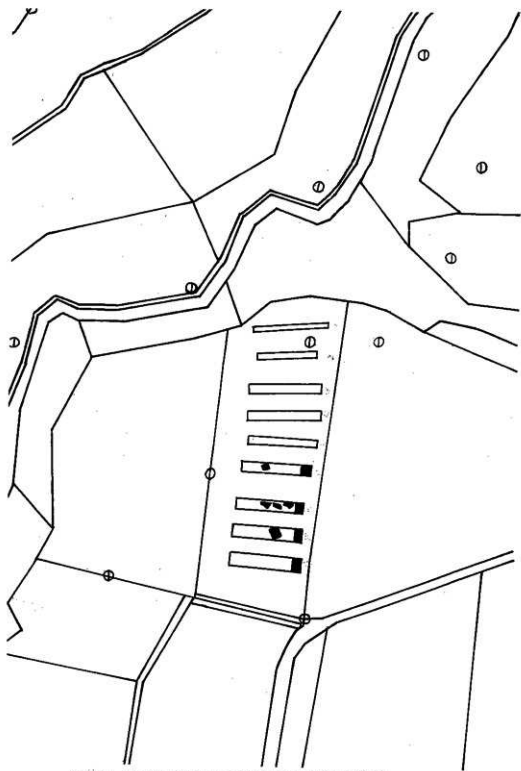
その結果、畑(2874-1番地)東側の南北を貫く堀に並行して、大規模な土塁が築かれ、当時はかなり嚴重に郭北側の守りを固めていたことが明らかになった(写真参照)。また、トレンチ6～9にかけては堀に並行する遺構があることやこの地域の中世城郭に特有の竪穴遺構数基が確認された。

全体的には小田井氏の主だった屋敷が想定されるような大規模建物跡の存在は当調査地区では検出されなかった。

遺物も検出されなかったため、当時はこの場所は、居住に用いられることが少ない状況であったことが推定された。



第2図 小田井城跡の縄張図と調査地点
 (1:5,000、斜線 平成10年度、
 アミ点 平成11年度発掘調査)



第3図 小田井城跡 (2874-1 番地) 試掘トレンチ設定状況



写真1 小田井城跡空中写真（北側より）



写真2 小田井城跡空中写真（南西側より）



写真3 小田井城跡（今回の調査地区）



写真4 調査地区トレンチ掘削状況



写真 5 小田井城跡重機によるトレンチ掘削状況



写真 6 小田井城跡重機によるトレンチ掘削状況



写真7 小田井城跡土壘構築土堆積状況



写真8 小田井城跡調査スナップ

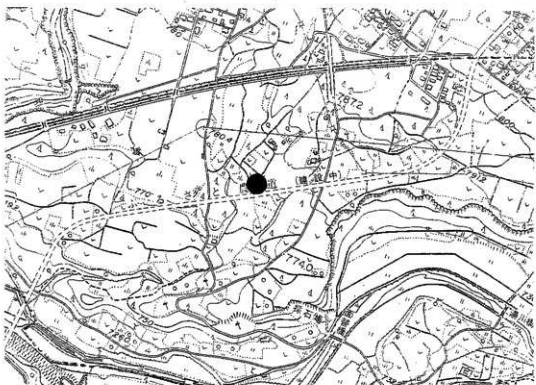
2 池尻遺跡

- (1) 調査場所 長野県北佐久郡御代田町大字御代田字池尻
- (2) 調査時期 平成12年3月6日
- (3) 調査原因者 御代田町
- (4) 調査原因 農道改良
- (5) 調査担当 小山 岳夫
- (6) 調査概要と結果

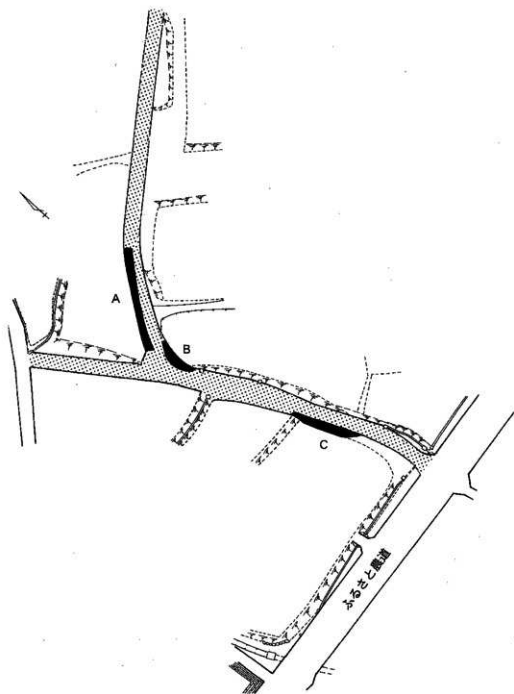
過去の調査で、縄文遺構と人骨、また、最近の調査で平安の堅穴住居跡1軒（長野新幹線の調査）が発掘されていたため、今回の試掘調査でもなんらかの遺構が確認されることが予想された。

しかし、3箇所にてトレンチを設定し、掘削を行ったが、A・B・C地点すべてにおいて遺構・遺物ともに検出されなかった。最も遺構の存在が有力視された台地上にあたるA地点には、平安時代・天仁元（1108）年の火砕流が70cmの厚さで堆積していることが確認された。

B地点はすでに削平され、C地点は、砂層の堆積が厚く、低地であったことが判明した。



第4図 池尻遺跡調査地点（●印 1：10,000）



第5図 池尻遺跡調査地点(斜アミ工事対象地)



写真9 池尻遺跡調査地点近景



写真10 池尻遺跡A地点



写真 11 池尻遺跡B地点



写真 12 池尻遺跡C地点

3 聖原Ⅱ遺跡

- (1) 調査場所 長野県北佐久郡御代田町大字御代田字蟹沢原1042-1番地
- (2) 調査時期 平成11年3月6日～7日
- (3) 調査原因者 現段階では特定されず。
- (4) 調査原因 開発が予想される地域の先行確認調査。
- (5) 調査担当 小山岳夫
- (6) 調査概要と結果

経 緯

過去、近隣の佐久市では、流通団地造成事業を中心として、国道141号線バイパス工事などの各種開発に伴う大規模な発掘調査が行われ、長土呂遺跡群と称される当地域からは律令期を中心として計画的に営まれたと考えられる古墳時代後期～平安の竪穴住居跡・掘立柱建物跡ともに1000軒近くからなる巨大集落跡が発掘された。

目 的

本調査の目的は巨大な古代集落跡、長土呂遺跡群の北端部を試掘調査し、その北限を正確に把握して、将来予想される開発事業に適正かつ迅速に対応することにあった。

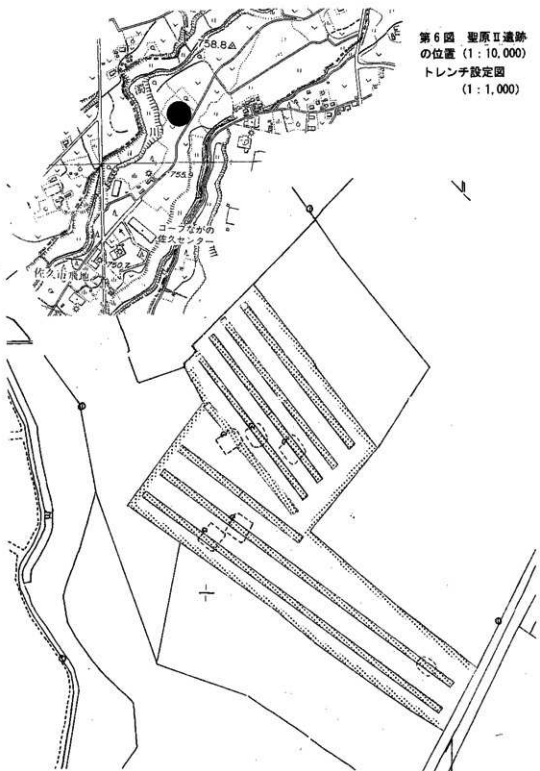
調査結果

試掘トレンチを8本設定して掘削した結果、表土から約50cmの深さで遺構確認面に達することが判明した。

また、図のように奈良～平安時代の竪穴住居跡6軒の存在が確認された。これら遺構の覆土からは須恵器、土師器等の当時の生活用品も発見された。生活用品の形状、製作技法等の特徴から確認された竪穴住居跡の年代が推定された。

課 題

今回の調査によって、長土呂遺跡群の北端にあたる地域でもかなりの律令期を中心とする遺構が、存在することが明らかになった。今後とも当遺跡群の分布範囲の把握に努めるとともに、適正な遺跡保護に努めていかなければならない。



第6図 聖原Ⅱ遺跡
 の位置 (1:10,000)
 トレンチ設定図
 (1:1,000)



写真13 聖原Ⅱ遺跡近景



写真14 聖原Ⅱ遺跡トレンチ掘削状況



写真15 聖原Ⅱ遺跡近景



写真16 聖原Ⅱ遺跡トレンチ掘削状況

4 大沼遺跡 —真楽寺境内地区—

- (1) 調査場所 長野県北佐久郡御代田町大字塩野 142 真楽寺境内
- (2) 調査期間 平成 12 年 3 月 9 日・10 日
- (3) 調査原因者 真楽寺
- (4) 調査原因 建物工事
- (5) 調査担当 堤 陸
- (6) 調査概要と成果

真楽寺境内には大沼池が湧水をたたえており、一帯は大沼遺跡として総称される。和名抄には佐久郡小沼郷という名称がみえるが、この地名は真楽寺境内の大沼池に由来する地名と考えられる。また、真楽寺の東に隣接する尾根には、重要文化財を出土した川原田遺跡がある。

今回、真楽寺三重塔（写真 17）の解体工事の計画があり、遺跡の一部が破壊される可能性もあるため、三重塔の北側（第 7 図）および西側にトレンチを設定し、試掘調査をおこなった。予想としては、現在の三重塔を新築（寛延 4 年 1751 年）する以前に建築され、慶長 18（1613）年に焼失したとされる前三重塔の遺構の一部が残る可能性も考えられた。

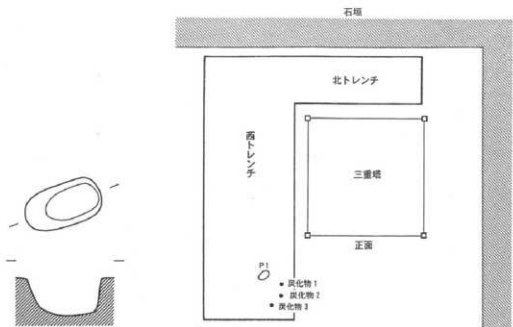
結果、前三重塔の建物配置等は確認できなかった。ただ、前塔の焼失した材とみられる炭化材（写真 24・26）や、性格不明のビット（P1 第 7 図、写真 18）などが検出された。ビット内からは鉄釘が検出されている。

前塔のプランが検出されなかったことは、前塔が現在の塔とほぼ同じ位置に建っていた可能性も示唆するが、すでに前塔の版築が失われてしまった場合、そうでない可能性も残る。しかし、焼失前に描かれた元祿の絵図を見る限りにおいても大幅にその位置が変更されたとは考えられない。

今後、三重塔修理前に、塔の北側および南側について確認調査を実施し、遺構のあり方を慎重に検討する必要がある。



写真 17 真楽寺三重塔



第7図 三重塔周囲調査トレンチ (1/200) とピット (1/40)



写真18 ピット1



写真 19 三重塔北側調査風景



写真 20 三重塔北側トレンチ



写真 21 三重塔周囲調査風景



写真 22 三重塔北側トレンチ



写真 23 三重塔北側トレンチ

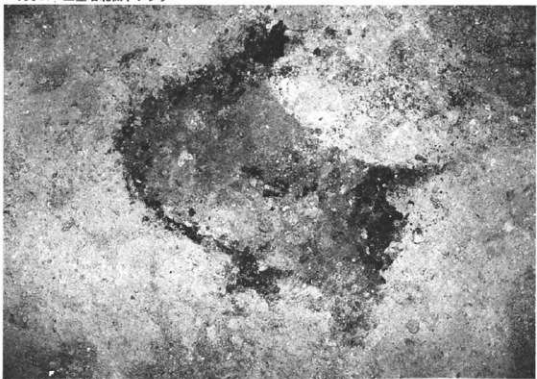


写真 24 炭化物 3



写真 25 調査風景



写真 26 炭化物 1



第8図 真楽寺元禄時代古絵図

この絵図は、元禄11年(1698)真楽寺において行なわれた二十五菩薩迎接会の念仏講の記録として開版されたものである。当時の真楽寺の施設のあり方を知る資料として貴重である。ただ、この時期三重塔は焼失後再建されておらず、矛盾点を生じている。推定で描かれたものなのだろうか。



報告書抄録

ふりがな	ちょうないいせき99				
書名	町内遺跡99				
副書名					
巻次					
シリーズ名	御代田町埋蔵文化財発掘調査報告書				
シリーズ番号	第29集				
編著者名	小山 岳夫				
編集機関	御代田町教育委員会				
所在地	〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2 TEL0267(32)3111				
発行年月日	2000年3月 日				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村			
小田井城跡	大字塩野字大沼		平成12年2月3・4日	300㎡	確認調査
池尻遺跡	大字御代田字池尻		平成12年3月6日	1,000㎡	農道改良
堀原Ⅱ遺跡	大字御代田字堀原		平成12年3月6・7日	2,261㎡	確認調査
大沼遺跡	大字塩野字大沼		平成12年3月9・10日	300㎡	確認調査

御代田町の埋蔵文化財発掘調査報告書

- 第1集 御代田町教育委員会 1975 『堀崎口下原古墳群』
 第2集 御代田町教育委員会 1985 『野火付遺跡』
 第3集 御代田町教育委員会 1985 『宮平一遺構編一』
 第4集 御代田町教育委員会 1986 『大沼遺跡』
 第5集 御代田町教育委員会 1987 『前山遺跡』
 第6集 御代田町教育委員会 1988 『十二遺跡』
 第7集 御代田町教育委員会 1989 『伊勢遺跡』
 第8集 御代田町教育委員会 1989 『広田遺跡』
 第9集 御代田町教育委員会 1990 『聖原Ⅱ遺跡』
 第10集 御代田町教育委員会 1991 『川原田・城之郷遺跡発掘調査概要報告書』
 第11集 御代田町教育委員会 1992 『城之郷遺跡』
 第12集 御代田町教育委員会 1992 『前田・塚田・下荒田遺跡発掘調査概要報告書』
 第13集 御代田町教育委員会 1993 『川原田遺跡—平安・中世編—』
 第14集 御代田町教育委員会 1993 『塚田遺跡』
 第15集 御代田町教育委員会 1993 『南沢調査概要報告書』
 第16集 御代田町教育委員会 1993 『西崎込・東二ツ石・赤玉遺跡』
 第17集 御代田町教育委員会 1994 『下野安遺跡』
 第18集 御代田町教育委員会 1994 『塚田遺跡』
 第19集 御代田町教育委員会 1994 『前藤部・聖原Ⅱ・清水平・上野敷・赤玉遺跡』
 第20集 御代田町教育委員会 1995 『下荒田遺跡』
 第21集 御代田町教育委員会 1995 『東荒神・下大宮・間懸・中畑遺跡』
 第22集 御代田町教育委員会 1997 『川原田遺跡』
 第23集 御代田町教育委員会 1997 『亀沢遺跡』
 第24集 御代田町教育委員会 1998 『めがね塚1号古墳』
 第25集 御代田町教育委員会 1998 『町内遺跡' 9 7』
 第26集 御代田町教育委員会 1999 『前藤部遺跡』
 第27集 御代田町教育委員会 1999 『町内遺跡' 9 8』
 第28集 御代田町教育委員会 2000 『宮平遺跡』
 第29集 御代田町教育委員会 2000 『町内遺跡' 9 9』

町内遺跡' 9 9

北佐久郡御代田町町内遺跡発掘調査報告書

2000年 3月24日 発行

編 集 御代田町教育委員会
 発 行 御代田町教育委員会
 印 刷 鬼灯書籍印刷株式会社
